

編集後記

その典型は「旅」だが、幼稚園で

は厳密な意味での旅はしない。遠足は
はじゅうぶんな下見と環境設定がほ
どこされた「旅」だから。

「遠足」を特集した。私の記憶から

一 小学校中学年のころか、水筒には
ぜつたいコーラを入れてくれと頼
み、母はその願いを聞き入れてくれた
た。昼、嬉々として水筒から飲んだ
コーラは、生ぬるくべつとりと甘
く、母手作りのいなりすしとは「合
わない」とはつきり認識した。

遠足の醍醐味は、いつもどちらがう
場所に、慣れ親しんだ仲間と行く、
というところだろう。レルフによる
と、人間は「からだ」というもつと
も基本的な場所から、徐々に自分の
なれ親しんだ場所を拡張し、時には

その場所を越境しようとする特異な
動物らしい（「場所の現象学」）。

* 本誌へ投稿、感想お寄せください。
い。youjimail@yahoo.co.jpまで。

幼児の教育

第一〇五卷 第九号

(一〇〇六年九月号)

定価五五〇円 (本体五四四円)

遠足は、生活に裏づけされた、家
庭や園という「場所性」に満ちた本

拠地を持つから、楽しいのだろう。

自分の馴れ親しんだ空間の外にも、
そこにはその時間が流れ、尊重す
べき「場所」があると感じられる想

像力が重要なのではないか。自然の
中には、植物、昆虫、鳥たちの生き
る場所があり、貝塚遺跡にはそこで

かつて生活していた人々の余韻があ
る（鈴木先生）。ディズニーランド
や遊園地のような、外部から意味を
据えつけられた空間の特質を、レル
フは「没場所性」と呼ぶ。（浜口）

発行所 平成十八年九月一日
編集兼発行人 浜口順子
発行所 日本幼稚園協会

〒108-8620 東京都文京区大塚二丁目二
一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒13-8611 東京都文京区本駒込

発行所 印刷所
株式会社 フレーベル館
〒13-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎ 〇三一五三九五—六六三三 営業

振替 〇〇一九〇—二一九六四〇
（編集）

☆ 本誌ご購読の注文は発売所フレ
ベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。